

和合

No.161
2024.11.1

題字：三浦修次



主な掲載記事

- 和合の里あれこれ……2
- はやぐおっきぐなれの～！…3
- 人生100年時代……3
- 四小通信……4
- わたしが描く和合の里…5
- わたしから見た和合の里……5
- よつぱっこ通信……6
- くらしの安全情報……7
- わごう駐在所……7
- 和合の里 INFORMATION……8

阿部亀治記念第5回和合の里フォトコンテスト一般の部「阿部亀治記念大賞」
作品名「朝陽をあびる稲杭たち」 撮影者：荒木伸彌 撮影場所：前田野目



古関のなりたち

開発は慶長19年（1614）とされており、川辺にあった二本木村が最上川の度重なる洪水によって困窮していたところ、慶長17年（1612）に北楯大堰が開削されたことから、希望と光明を見出して現在の古関に移住しました。白山神社に建立された開発碑には長谷部喜右衛門氏の名が開発者として刻まれています。村名の由来については狩川の滝ぜきの流れを灌漑用水にしたことから、または古い関所跡であるからなど諸説あります。

古関村で特異なことは孫市方と彦市方に組分けされていたことです。孫市、彦市は村の肝煎（首長）で、寛文9年（1855）の水帳に孫市方78戸、彦市方42戸の計120戸とあることから大きな村であったことがわかります。

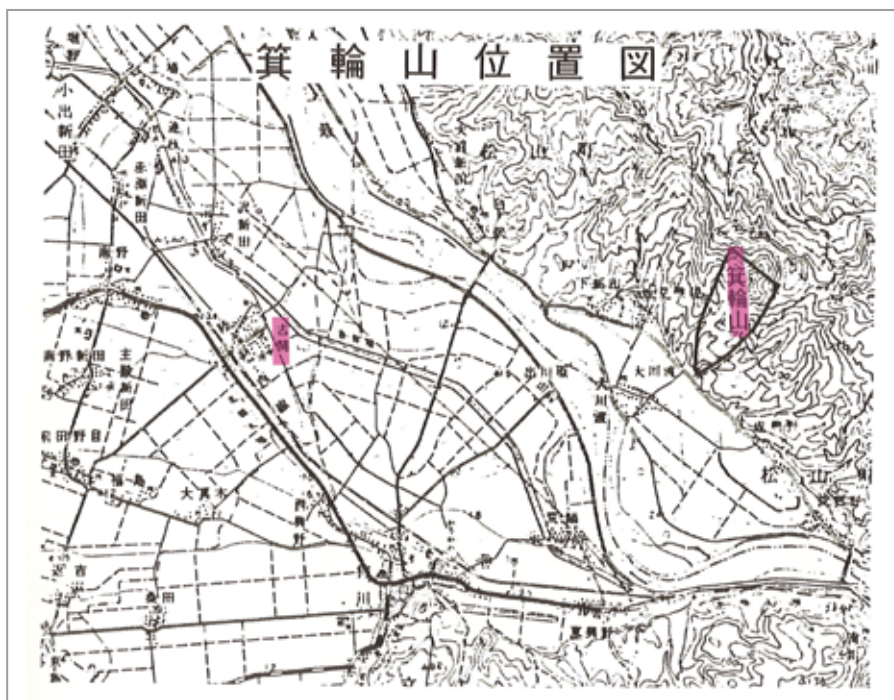
平田山論争

平田山とは固有の山の名称ではなく、清川から千河原の間の対岸に連なる山々のことです。生活に必要な資源を調達するために村落共同で利用する山林を入会地と呼びましたが、北楯大堰開削後に多数の新田村が開発された和合の里には山地が存在せず、入会権をめぐる争いが起きました。

最上氏の統治時代、北楯大堰の開削に伴い、北楯大学の意志により北楯大堰の補修用として平田山への入会が認められ、山年貢8俵2斗余を納入しました。慶安元年（1648）、狩川、古関、南野、南興屋の百姓が入会地と確信していた平田山の通称つりあみ山で樹木を伐採していたところ、付近の百姓に鉾や斧を取り上げられる事件がありました。このとき川北の村々が起こした訴訟で狩川組は敗訴しましたが、山年貢8俵2斗余を上納している事から大川渡山の入会が認められました。その後も入会地の境界については明確さを欠き、山論を再燃させました。

箕輪山の払い下げ

明治44年（1911）にかねてより村民が出入りしてきた箕輪山が関係村に払い下げられることになり、古関では奥山重右衛門氏と川井庄右衛門氏より資金3,000余円を借用し、48町余歩を2,127円74銭4厘で買い上げました。両氏からは大正4年（1915）に耕地整理の資金4,000余円も借用しており、負債返済のため大正4年から大正11年（1922）にかけて義務耕作を敢行し、村共有田から収穫した米代金によって返済しました。これらの出来事を記念して大正11年に建立された記念碑が白山神社の境内に残されています。



古関と箕輪山の位置



白山神社



開田記念碑

パパとママにインタビュー

はやぐおっきぐなれの～!



うえの みつほ
上野 光穂ちゃん
(吉方)

令和5年5月18日生まれ
パパ：陽平 ママ：真悠子

❀1 名前の由来は？

兄弟みんな植物由来の漢字を使っていたので、稲穂のように目指す先にぐんぐん歩んで欲しいと“穂”という漢字を使うことにしました。

❀2 今一番の興味やハマってることは？

鳥が好きで、見つけるとすごい発見をしたかのように「あっ!!」と言って指を指して教えてください。

❀3 最近記憶に残ったエピソードは？

早起きで、空が明るくなると動き出すのですが、「ねんねしよ」と言うと「ねんねー」と言いながら横にゴロンと寝てくれます。

❀4 パパママの失敗談 (子育てあるある)

夏に旅行で海に行った際、日焼け止めを塗らないで遊んでいたら後日肩の皮がポロポロめくれてしまいました。

❀5 パパママからのメッセージ

いつもニコニコで好奇心旺盛な光穂。その調子でいろんなことに挑戦していろんなことを経験して、元気に大きくなってね!



人生100年時代 危険! 血圧高値の放置!

保健福祉課 健康推進係
佐々木悦子



高血圧は自覚症状がないため、知らないうちに体の血管の動脈硬化が進み、血管が硬く、もろくなることがあります。その結果、ある日突然、脳卒中などの深刻な病気を引き起こすこともあるため、毎年健診を受けることはもちろん、日頃から自宅で血圧測定し、自己管理することが大切です。高血圧の基準は家庭血圧で135/85mmHg以上です。数値が高いときは、放置せずにかかりつけ医等の医療機関を受診して早めに相談しましょう。

●血管が固くならないようにするために・・・

- ①無理のない運動で身体を動かしましょう。
- ②減塩・バランスのよい食事をし、加工食品は控えましょう。

③睡眠をしっかりとり、ストレスをためないようにしましょう。

④たばこは控えましょう。

●血管に負担をかけないために・・・

①過度の飲酒はせず、適量を楽しみましょう。
男性の適量は、ビールは中瓶1本、日本酒は1合、焼酎は0.6合までのいずれかひとつまで（女性・高齢者は、この半量）です。週に2日は飲酒しない日（休肝日）をつくりましょう。

②急激な温度差に注意しましょう。
気温が低い時は、浴室や脱衣所をあたため、お湯の温度は41度以下に設定しましょう。

■問合せ先/保健福祉課 健康推進係 ☎42-0148



えがお 輝く 四小っ子

四小通信



【校訓】三愛精神「人を愛し、ものを愛し、学問（真理）を愛する」

前期の学習が終わりました

地域の皆様のおかげで、四小の子どもたちは前期の学習を終えることができました。後期も充実した学習ができますよう、引き続きご支援・ご協力をよろしくお願いします。

9/4 授業参観

2学期早々の時期でしたが、夏休みの生活から切り替えて学習している様子を見ていただきました。2年生の授業の写真です。



9/4 PTA研修会

普段、共同調理場にお勤めの関根淳栄養教諭より「成長期の食事」というテーマでご講演いただきました。



9/12 クラブ活動開始

今年度、6つのクラブに分かれて活動しています。写真は、ボッチャをしているところです。暑さ指数が高く、体育館でできないため、冷房の効く教室でやりました。



9/2 園長先生の読み聞かせ

第四幼稚園の加藤園長先生が、1年生に読み聞かせに来てくださいました。子どもたちは、うれしそうに聞いていました。ありがとうございました。



余目第四小学校 6年生 わたしが描く和合の里



私が描く和合の里は、笑顔があふれる楽しい和合の里です。和合の里に笑顔があふれたら小さい子からお年寄りまで幸せになれるからです。みんなが幸せになれば、いやな事も全部なくなって楽しい事で頭いっぱいになってくせると思っています。そんな和合の里にするために、思いやりの気持ちを持つてるようにがんばりたいです。



ぼくが描く和合の里は、みんなが仲良くすごせる町です。理由は、みんなが仲良くすごせないとき、困っているときに助け合うことができないからです。そうならないためにも、小さい子やお年寄りにも、思いやりをもって接し、みんなが仲良くすごせるようにしていきたいです。



ぼくは、あいさつがしっかりできる和合の里にしたいです。理由は、あいさつができれば、笑顔があふれる町になると思います。そのために、自分から進んであいさつをして笑顔があふれる元気な和合の里にしていきたいと思いました。

わたしから見た 和合の里



庄内町立余目第四小学校
教諭 大瀧 陽子

四月より余目第四小学校にお世話になっています。以前、狩川地区から余目地区へ通勤していた時に毎朝、田園の中を一生懸命に登校している四小の子どもたちを見る度に、「私もがんばろう！」と元気づけられていました。赴任してからは、クラスの子どもたちも、「先生、水曜日はわごうだよ。」ととても楽しみにしている様子で私に伝えてきました。赴任してすぐでしたので、「水曜日の和合？」と思いましたが、その水曜日になり、目を輝かせていた意味がよくわかりました。学校が終わり、余目第四まちづくりセンターに子どもたちを連れて行くと、子どもたちを待ってくださっているたくさんの方々のボランティアの交通指導やまちづくりセンターやグラウンドで子どもたちが遊ぶのを温かい目で見守ってくださり、子どもたちが安全に楽しく遊べるようにしてくださっていました。本当にありがとうございます。まだまだ私の知らない和合の里の魅力がたくさんあると思いますので、もっと見つけていきたいと思えます。これからもよろしくお願いたします。



余目第四幼稚園

よつぱっこ通信

元気もりもり！運動遊びって楽しい！

運動の秋到来！毎日元気いっぱい体を動かして遊ぶ心地良さを感じている子ども達です。自分達でどんな運動遊びに挑戦するか決めて、自分なりの目標を持って楽しく活動しています。



思いっきりジャンプして…それ～跳べたよ!!



ジャングルジムにかけた細長い板…ゆっくり慎重に登っているよ!



ロープ渡り! ゆらゆらしてバランスを取るのが難しいぞ!!



築山からのジャンボ滑り台!! サイコー!!



ミニハードル! 自分達で間隔を決めてチャレンジ!



友達とぶつからないように手や足でブレーキをかけながらしっかり調節!

梨狩り体験に行ってきました

9月上旬、園外保育で櫛引の長南農園さんで梨狩り体験をしてきました! 頭上いっぱいにたわわに実った梨を目の前にして「うわ～!」と感動する子ども達でした。

一人2個もぎ取り、お家にもお土産に♡食欲の秋でもあります!



事件、事故のない和合の里を くらしの安全情報 ～身近に潜む冬の危険～

酒田地区広域行政組合消防本部
消防署立川分署 松田 希望



「ヒートショック」という言葉を耳にしたことはありますか？

ヒートショックとは、急激な気温差によって血圧が上下し、心臓や血管の疾患が起こることを言います。この血圧の乱高下に伴い、脳内出血や心筋梗塞、脳梗塞などの病気が起こります。特に夜のトイレや入浴時は注意が必要です。ヒートショックを起こしやすい人と対策について以下にまとめたので参考にしてください。

～ヒートショックを起こしやすい人～

- ・65歳以上である。
- ・高血圧、糖尿病、動脈硬化がある。
- ・肥満、睡眠時無呼吸症候群、不整脈がある。
- ・熱い風呂が好き。
- ・飲酒後に風呂に入ることがある。
- ・30分以上お湯に浸かる。

～ヒートショックを防ぐために～

- ・トイレや脱衣所、浴室を温める。
- ・風呂の温度は41℃以下に設定し、お湯に浸かる時間は10分を目安にする。
- ・飲酒後の入浴を避ける。
- ・食後に入浴する際は、1時間ほど時間を空ける。
- ・風呂場の床にスノコやマットを敷いておく。



庄内警察署
後藤 紘
(第四学区担当)

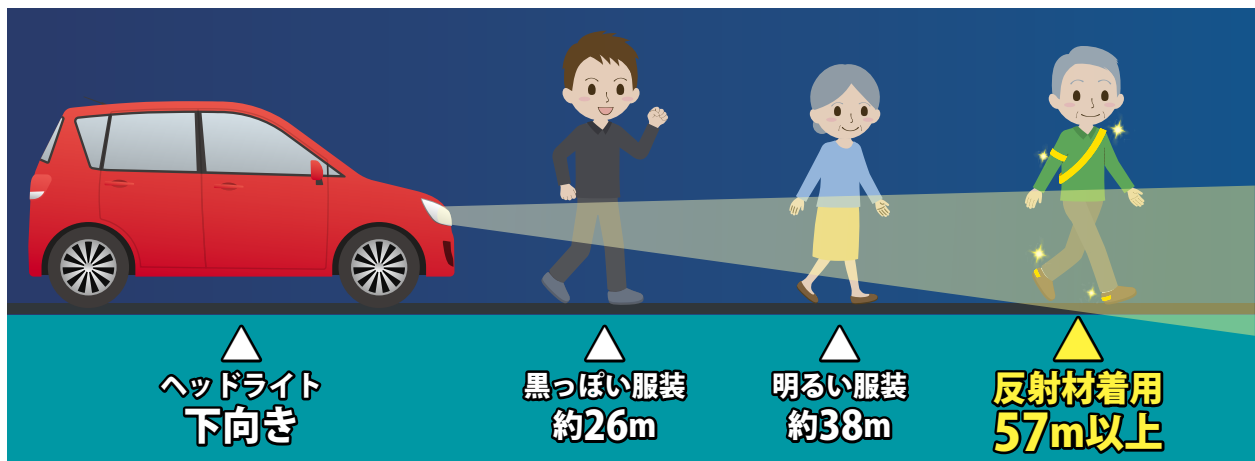
わごう駐在所

～庄内警察署からのお知らせ～

日没時間が早くなってきました、夜光反射材を着けましょう！
歩行者被害の死亡・重傷事故は、日没の早まる秋以降に増加します。

※車のヘッドライトが **下向き**の場合の照射距離は、**約40m**
上向きの場合の照射距離は、**約100m**

【夜間、ドライバーから歩行者が見える距離は・・・？】



※ この結果は JP マークの付いた製品によるもので、面積 2.5 cm²かつ反射性能 117mcd/lux 以上の反射材を使用

夜光反射材は夜間の歩行者などの死亡事故リスクを減少化させます。
自分や家族を守るために、必ず夜光反射材を身につけましょう。

『花のまちコンクール』今年の栄光は？

庄内町主催のコンクールでは町内の街路や交通島の花壇を花で飾り、地域の環境作りに務めた団体を表彰しています。和合の里は一般団体部門から吉方自治会が第1位に選ばれました。ソーラー噴水を設置したり、花壇を観賞できるようにイスとテントを設置するなど癒しの空間作りを工夫しました。拠点団体部門からは古閑老人クラブが第2位に選ばれました。今年からは部落会から協力を得ており、会員同士の親睦を深めながら人々に楽しんでいただける景観作りを目指しています。



南野に伝わる『百万遍』

大数珠を回しながら「南無阿弥陀仏」の念仏を唱えることによって極楽浄土へ行くことを願ったという百万遍。新町の子安観音で9月5日(木)に行われたこの行事は春と秋の年2回行われています。これまで女性たちが中心となってきましたが、コロナ禍での開催中止を経て、今年からは例祭日に合わせて男性陣も交えて再開する運びとなりました。人手が減っていく中で百万遍のあり方を今後も考えていきます。



令和6年度の地域啓発標語が決定しました！

余目第四小学校のみなさんから今年も和合の里を彩る標語を考えていただきました。優秀作品を余目第四まちづくりセンター前に看板として掲示いたします。ぜひご覧ください。



紅葉シーズンのコキア

紅葉するのは樹木だけではありません。春から夏にかけて青々としていたコキアが10月になり赤く染まり始めています。各集落の花壇でみなさんの目を楽しませてくれるでしょう。



興味津々、グラウンドゴルフ

10月11日(金)、余目第四小学校3年生の学習の様子です。地域のみなさんとグラウンドゴルフに挑戦。ルールについて教わりながら、よく狙ってスティックをスイング！思いっきり打てたかな？

